

月刊 ゆがの通信

2020年12月号

発行：ゆがの薬局

冬は空気の乾燥シーズン 鼻づまり、カラ咳は早めに対処を

空気の乾燥が鼻に影響

冬になって空気が冷たく乾燥してくると鼻の症状についてのお問い合わせが増えてきます。風邪による鼻づまりの症状が多いのですが、蓄膿症でお悩みの方もこの時期から多くなります。

蓄膿症（副鼻腔炎）は細菌の感染によって副鼻腔に膿がたまり炎症をおこし、頑固な鼻づまり、頭痛、思考力の低下などの症状が起こります。重症の場合、手術に至るケースもあります。

漢方の古典にも蓄膿症は「鼻淵（びえん）」として記載されており、「濁った鼻汁が多量にたまる病気」とされ、その原因を細菌感染による炎症としています。

そのための処方がある「精華鼻淵丸（せいかびえんがん）」として販売されています。



精華鼻淵丸には炎症を抑え、抗ウィルス・抗菌作用を持つ蒼耳子（ソウジシ）、菊花（キクカ）、金銀花（キンギンカ）、鼻腔の通りをよくする辛夷（シンイ）などが処方されています。これらの香りの強い揮発性のある生薬は鼻や肺に作用しやすく、鼻の通りを

良くして、鼻粘膜の炎症を改善します。

カラ咳は「腎」と「肺」の潤い不足
冬の乾燥期にもう一つ注意が必要な症状がカラ咳や口の乾きがひどくなる方です。この症状は「腎」と「肺」がそのポイントとなります。

漢方での「腎」は、体内の水分調整を行う腎臓の機能だけでなく、人間の成長・発育・生殖のもととなる栄養物質の「精（せい）」を司る機能も含まれます。

生まれつき身体の弱い人や老化、慢性病の人は「腎陰虚（じんいんきょ）」といい腎の精の不足の状態、体内の水分や栄養成分が不足して、口が乾く、手足がほてるなどの症状があります。この状態の人が乾燥期の影響を受けると先ほどの症状に加えてカラ咳、口臭の乾燥感などが症状としてあらわれます。これを「肺腎陰虚」といいます。

これらの症状には「八仙丸（はっせんがん）」がおすすすめです。

八仙丸には、滋養強壮に効果のある地黄（ジオウ）、山茱萸（サンシュユ）、山薬（サンヤク）、水分代謝をよくする茯苓（フクリョウ）、沢瀉（タクシャ）血の巡りをよくする牡丹皮（ポタンピ）などの「腎」を補う生薬に、肺を潤す麦門冬（バクモンドウ）、五味子（ゴミシ

）を加えた処方、体内に水分と栄養をめぐらせて症状の改善を図ります。時節柄、鼻や咳などの不調は体調的にも精神的にも悪影響となりかねませんので、本格的な乾燥シーズンに入る前に一度ご相談、お試しください。

イスクラ産業「精華鼻淵丸」
六〇〇丸入り（一か月分）
六、八九〇円十税

一回六丸 一日三回お飲みください



(C)イスクラ産業株式会社

イスクラ産業「八仙丸」
五四〇丸入り（一か月分）
五、三四〇円十税
一回六丸 一日三回お飲みください



(C)イスクラ産業株式会社

「精華鼻淵丸」「八仙丸」についての「ご相談」質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円(税込)

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>